Panasonic

取扱説明書

ポータブルステレオ CD システム

品番 RX-D27

確認と準備

聞く

録音

カラオケ

もし必要なとき

付属品の確認

□ 電源コード
(K2CA2CA00010) ‥1本
□ リモコン
(EUR648279) ‥‥1個
□ リモコン用乾電池
(単3形) ‥‥‥‥‥2個

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。( )内は買い替え時の品番を表します。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、ポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(2〜3ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQTT0597-3S

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告　この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意　この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コード・電源プラグについて

■電源コード･電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない］

- 傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。
- 抜くときはプラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

もし異常が起こったら

■異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

雷について

■雷が鳴ったら、アンテナ、機器や電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

■雷が鳴ったら、屋外で使わない

- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

ご使用について

■機器の上にものを載せない

- ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

⚠ 警告

ご使用について

■機器は分解、改造したりしない

- 機器内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

設置について

■放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。本機後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

■油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

■異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

ご使用について

■ひび割れ、変型したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない

- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

■機器に乗らない

- 倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■コードを接続したり、アンテナを伸ばした状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

■電池は誤った使いかたをしない

-

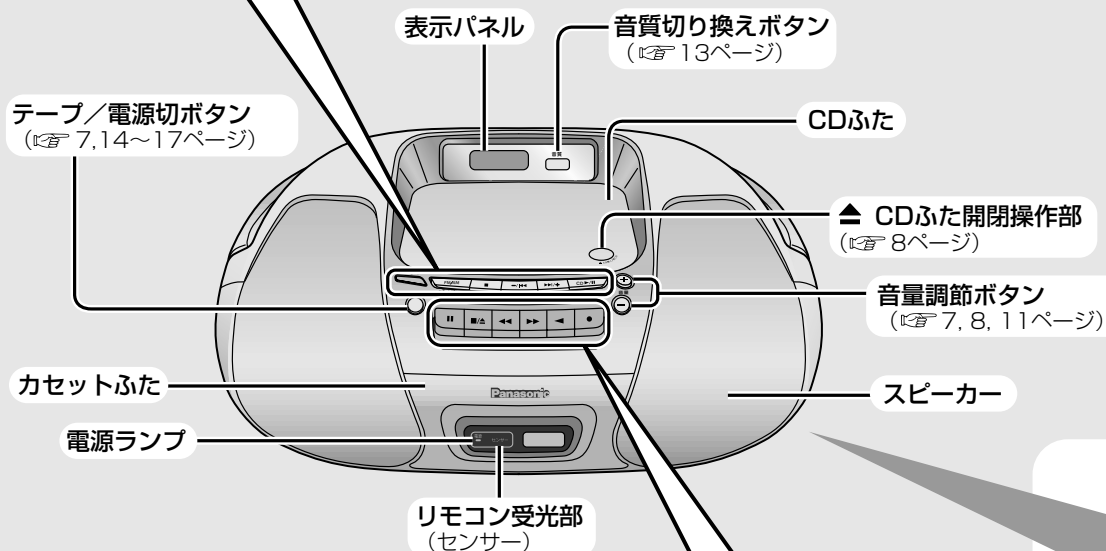
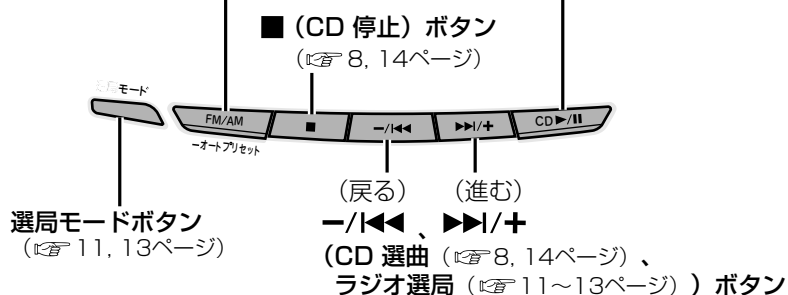
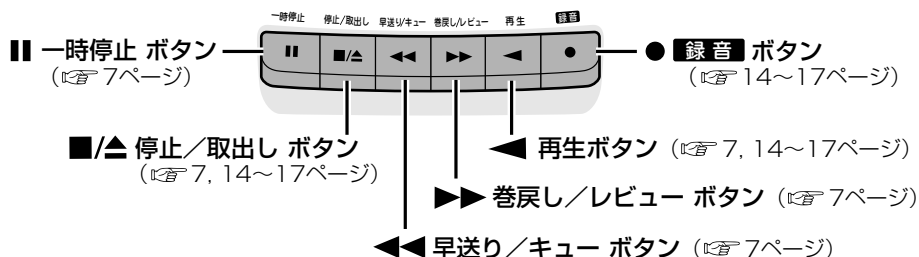
- **新･旧電池や、違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

各部のなまえ

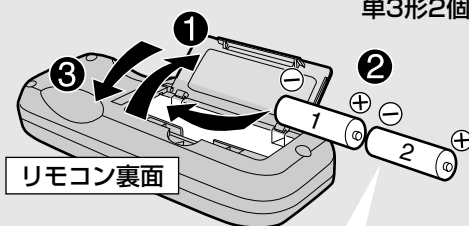
設置上のお願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。
テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

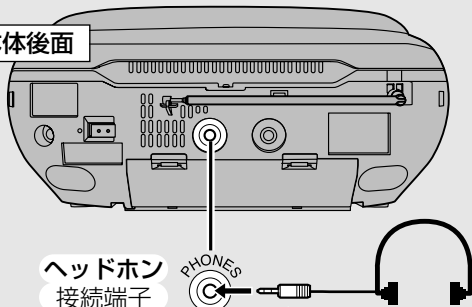
本 体

リモコン

⬭：リモコンのみで操作できるボタンです。
⬬：本体に同じなまえのボタンがあり、働きも同じです。
ただし、本体を乾電池でお使いのときは、リモコンの[FM/AM]、[CD ►/II] で電源を入れることはできません。

乾電池（付属）の入れかた

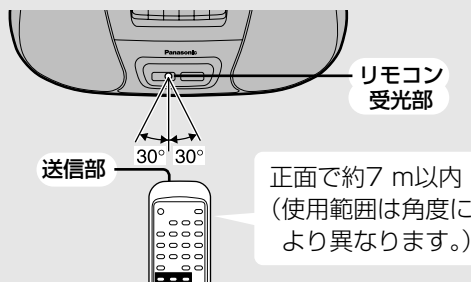
単3形2個

- ⊕と⊖を正しく入れる
- ⊖側に押しながら入れる

ヘッドホンについて

ヘッドホンは別売です

ヘッドホンプラグタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品（別売り）：RP-HT242（密閉型）
RP-HT29
（小型軽量オープンエア型）

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で、長時間聞くことは避けてください。

正しく送信するために

正面で約7 m以内
（使用範囲は角度により異なります。）

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意する。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

電源の準備

本体は、家庭用コンセント、または別売りの単2形乾電池（6個）のどちらかで使います。

家庭用コンセントで使うとき

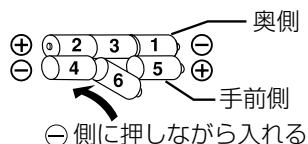
電源コードで使うときは、単2形乾電池は不要です。

電源コード（付属）を、奥までしっかり差し込む

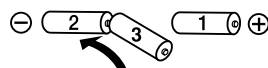
家庭用コンセント：
AC100 V、50/60 Hz

乾電池（別売り）で使うとき

電源コードを本体から抜かないと、乾電池電源に切り換わりません。

電池ふたを開け、番号順に乾電池を入れる

メモリー用に乾電池（別売り）を入れる

時刻や記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。

電池ふたを開け、番号順に乾電池を入れる

お願い

- **付属の電源コードは、本機専用です**
  他の機器に使用しないでください。

■ メモリー用に乾電池を入れていないと、以下のときメモリーが消えます

- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- コンセントに接続していない電源コードを、乾電池で使用中の本体に差し込んだとき

■ 電源コードを抜くときは

1 演奏を止める

2 ［テープ／電源切］を押して、電源を切る

3 電源コードを抜く

電源が入ったまま電源コードを抜くと、メモリー用乾電池が早く消耗します。

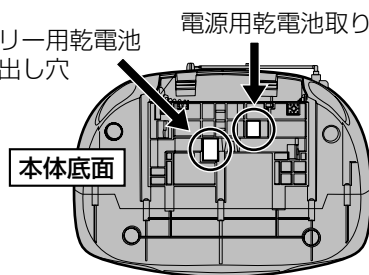
■ 電源用乾電池の交換について

- 乾電池が消耗すると、表示パネルに ▭ が点滅します。
  録音の前には、乾電池を6個とも交換することをおすすめします。
- 乾電池を交換した直後に ▭ が点滅していても、再生ボタンを押すなどの操作をすると表示は消えます。

■ メモリー用乾電池の交換について

- 乾電池の寿命は約1年です。
- メモリーが消えないよう、電源コードをコンセントと本体に接続してから、乾電池を交換してください。

■ 乾電池を取り出すときは

- 本体底面の穴に、指を入れて押し出す。

お知らせ

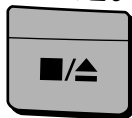
- **長期間使用しないときは**
  - 節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
    ただし、**メモリー用乾電池**（☞ 上記参照）を入れていないと、放送局の設定など各種メモリーが消えます。次回使用時に再設定が必要になりますので、注意してください。
  - 電源を切った状態でも、約0.7 Wの電力を消費しています。

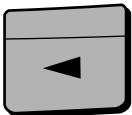
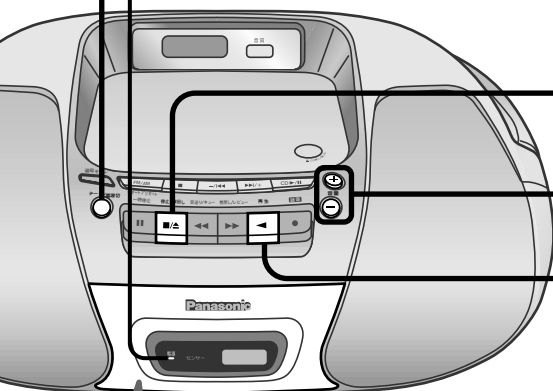
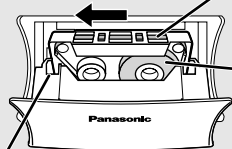
テープを聞く

電源ランプが点灯しているときは

1 テープ/電源切

押す

2 停止/取出し

押して、
ふたを開け、
テープを入れる

テープを入れたら、ふたは手で閉めます。

3 再生

押して、
演奏を始める

4 音量

押して、
音量を調節する

本機で正しく再生できるテープは、NORMAL POSITION（ノーマル ポジション）／TYPE I です。
ハイポジション、メタルポジションテープを使うことはできますが、その特性をいかすことができません。

> 演奏を止めるには：
> ［■/⏏ 停止／取出し］を押す
> - 電源も切れます。

お知らせ

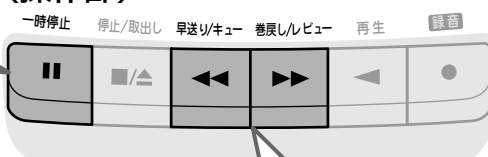
- ［■/⏏ 停止／取出し］を押さなくても、演奏している面が終わると自動的に止まります。

（操作部）

❚❚ 一時停止するとき

押した位置で一時停止します。
もう一度押すと、再生に戻ります。

◀◀ 早送り、▶▶ 巻戻しするとき

- **演奏していないときに押すと…**
  早送り、または巻戻して、テープの最後で自動的に停止します。
  途中で早送り、巻戻しをやめるときは［■/⏏停止/取出し］を押してください。
- **演奏中にも使えます**
  押している間、早送り、または巻戻しをします。指を離すと演奏が再開します。

お願い

- **早送り（巻戻し）中に［◀再生］を押さないでください。**
  テープが回転部に巻き込まれる恐れがあります。必ず［■/⏏ 停止／取出し］を押して、早送り（巻戻し）を止めてから［◀再生］を押してください。

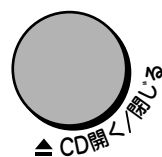
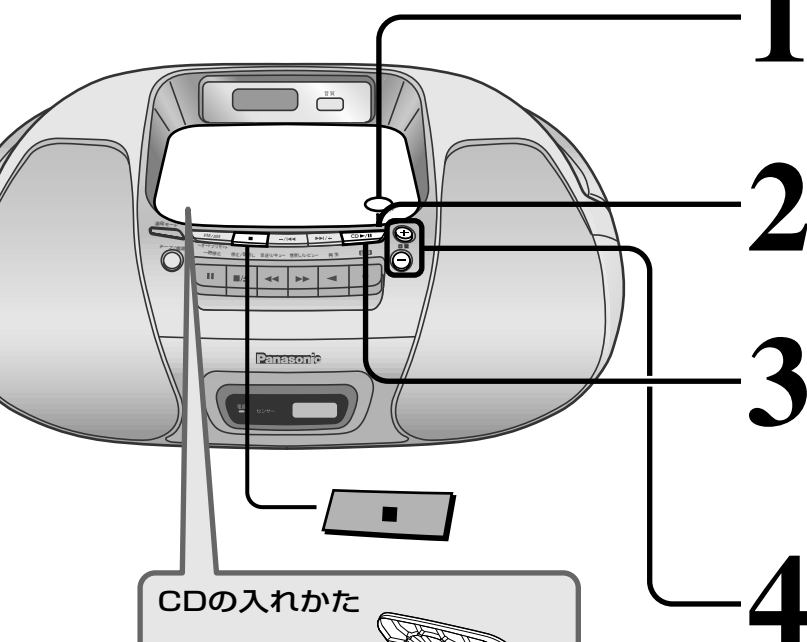
CDを聞く

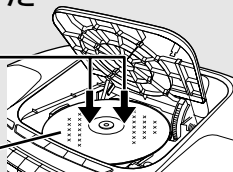
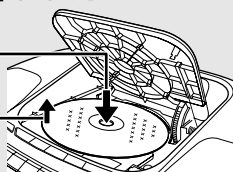
1

押して、
ふたを開け、CDを入れる

2

押して、
ふたを閉める

3

押して、
演奏を始める
1曲目から最後まで
順番に演奏します。

4

押して、
音量を調節する

演奏を止めるには： [■] を押す

お知らせ

- [■] を押さなくても、全曲の演奏が終わると自動的に止まります。
- すでにCDが入っているときは、[CD ▶/II] を押すと、演奏が始まります。（CDが入っていないときに [CD ▶/II] を押した場合は "NO DISC" と表示されます。）

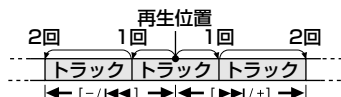
（操作部）

CD ▶/II 一時停止するとき

押した位置で一時停止します。
もう一度押すと、再生に戻ります。

–/I◀◀ 戻る、▶▶I/+ 進む

- **曲を飛び越す（スキップ）**
  演奏中に、飛び越す曲数だけ押します。

再生位置
2回 1回 1回 2回
トラック トラック トラック
[–/I◀◀] [▶▶I/+]

- **早送り、早戻しをする（サーチ）**
  演奏中、または一時停止中に好みの位置まで、**押したまま**にします。

お願い

- 演奏中、一時停止中、またはCD を入れてCD ふたを閉めた直後に **[≜ CD 開く／閉じる]** を押さないでください。CD に傷が付く恐れがあります。
- 他の機器（ラジオ・テレビなど）に雑音が入ったら、できるだけ本機を離してご使用ください。

お知らせ

- 本書では、本体での操作を主にして説明しています。
リモコンのみで行う操作には、リモコンのみ と記載しています。

リモコンのみ くり返し聞く（リピート演奏）

1曲をくり返す“1-⟲”（1曲リピート）

1 くり返したい曲を演奏する
（「CDを聞く」☞8ページ）

2 プレイモード 押して、“1-⟲”を表示させる
同じ曲をくり返し演奏します。

押すたびに → 1-⟲（1曲）→ ⟲（全曲）→ RND（順不同）→ 表示なし（解除）
演奏中は表示されません。

全曲くり返し“⟲”（全曲リピート）

1 くり返したいCDを演奏する
（「CDを聞く」☞8ページ）

2 プレイモード 押して、“⟲”を表示させる
全曲をくり返し演奏します。

■ 解除する

“1-⟲”、“⟲”の表示が消えるまで［プレイモード］を数回押す。

- リピート演奏は一度設定すると、表示を消すまで解除されません。
電源コードを抜いたり、［≙CD 開く／閉じる］を押してCD ふたを開けると、“1-⟲”、“⟲”の表示が消え、リピート演奏は解除されます。

■ 聞きたい数曲を繰り返す

① 「聞きたい曲を予約順に聞く」（☞10ページ）の手順 **1** ～ **2** で好みの曲を予約する
② ［プレイモード］を押して、“⟲”を表示させる
③ ［CD ►/II］を押して、演奏を始める

リモコンのみ 順不同に聞く（ランダム演奏）

1 CD を停止させた状態で
プレイモード 押して、“RND”を表示させる

押すたびに → 1-⟲（1曲）→ ⟲（全曲）→ RND（順不同）→ 表示なし（解除）

2 CD ►/II 押して、演奏を始める
全曲を順不同に演奏した後、停止します。

お知らせ

- ランダム演奏は、プログラム演奏と同時に使うことはできません。
- ランダム演奏中は、［−/⏮］を押してもスキップはできません。
- ランダム演奏中のサーチは演奏中の曲の中でだけできます。

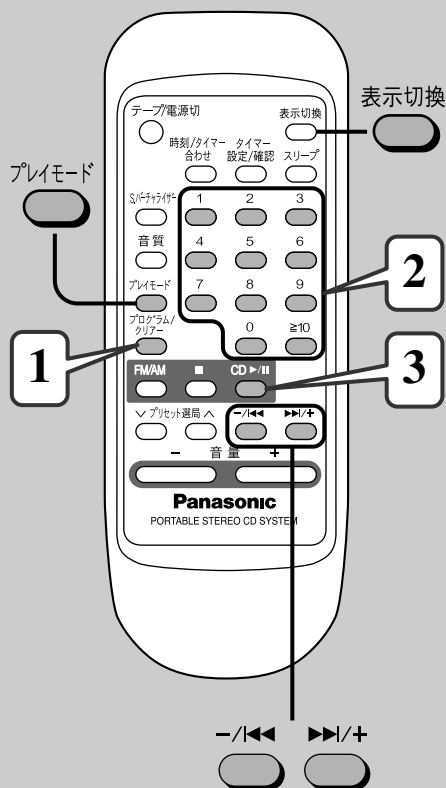
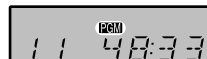
■ 解除する

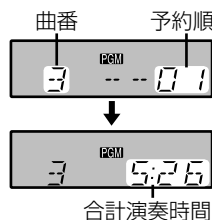
停止中に［プレイモード］を押して、“RND”の表示を消す。（演奏中は解除できません。）

- ランダム演奏は一度設定すると、表示を消すまで解除されません。
電源コードを抜いたり、［≙CD 開く／閉じる］を押してCD ふたを開けると、“RND”の表示が消え、ランダム演奏は解除されます。

CDを聞く

リモコンのみ　聞きたい曲を予約順に聞く（プログラム演奏）

最大24曲まで予約できます。
CD の演奏を止めてから、予約の操作をします。
“RND”が表示されているときは、［プレイモード］を押して消してください。

1 CD を停止させた状態で
プログラム/クリアー
押して、“PGM”を表示させる

2 **数字ボタンを押して、曲番を表示させる**

曲番　予約順
合計演奏時間

■ **数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには**

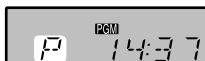
（例）　曲番16：≧10 → 1 → 6
　　　　曲番25：≧10 → 2 → 5

■ **続けて予約するには**
手順 **2** をくり返す（最大24曲まで）

■ **予約の途中で予約内容を確認する**
① ［表示切換］を2回押す
② “P”を表示させ、［−/I◀◀］または［▶▶I/+］を押す
押すたびに、曲番と予約順が順次表示されます。
確認の途中でも、続けて予約できます。

3 CD ▶/II
押して、演奏を始める

■ **解除する**
停止中に［プログラム／クリアー］を押す
“CLEAR”が表示され、予約曲はすべて取り消されます。

■ **予約内容を確認する**
停止中に“P”が表示された状態で、
［−/I◀◀］または［▶▶I/+］を押す

■ **“-- --:-- --”と表示されたら**
予約曲の合計演奏時間が100分以上になりました。
ただし、予約や演奏はできます。

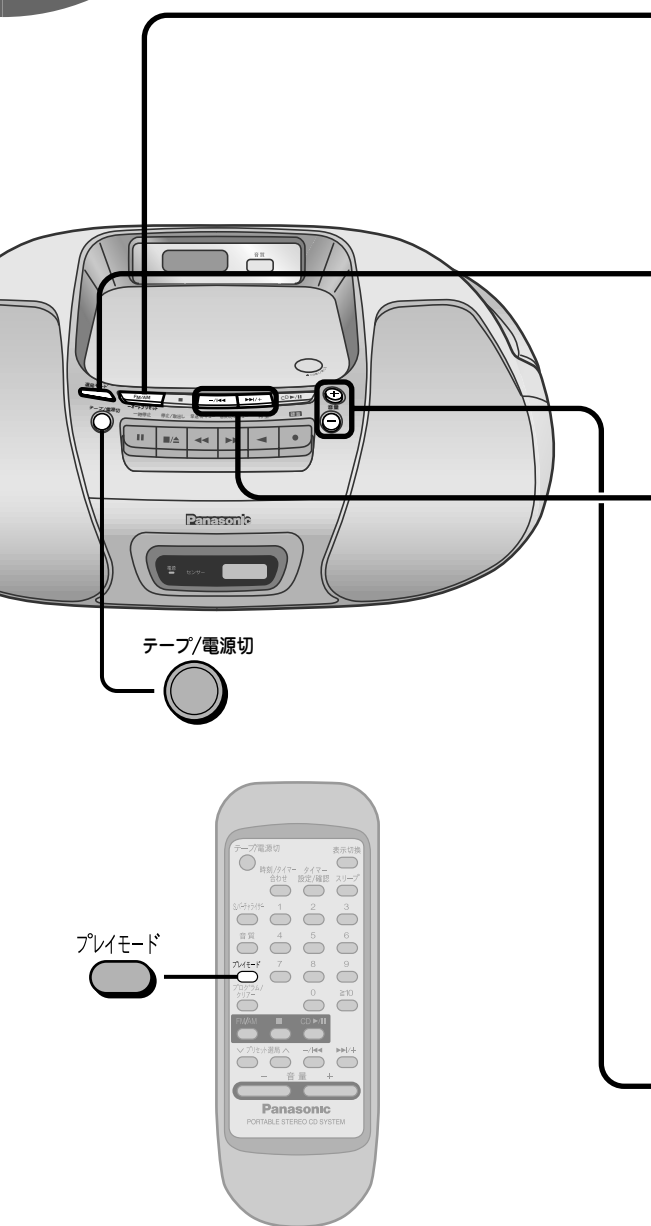
■ **“FULL”と表示されたら**
これ以上予約できません。

お知らせ

- プログラム演奏は、ランダム演奏と同時に使うことはできません。
- 演奏を止めたり、電源を切ったときでも、予約内容は記憶されています。
- 電源コードを抜いたり、［⏏CD 開く／閉じる］を押してCD ふたを開けると、予約内容は取り消されます。
- 演奏中は予約の操作はできません。

ラジオを聞く

テレビ音声はFMで受信します。
（1～3チャンネルのみ）

1

FM/AM
ーオートプリセット

押して、
"FM"または
"AM"を選ぶ

押すたびに、FM↔AM
が切り換わります。

リモコンで操作する場合、手順2は不要です

2

"PGM"が表示されているときは

選局モード

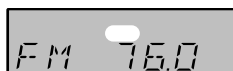
押して、
表示を消す

FM 76.0

3

−/⏮ ⏭/+

押して、
放送局を選ぶ

FM 88.1

● TV音声1～3chの位置

76.0~90.0 MHz−TV1ch−TV2ch−TV3ch

■ **自動選局するには**
（オートチューニング）

[−/⏮]または[⏭/+]を**押したままに**し、**周波数が動き始めたら指を離す。**
（最初に受信した放送局で周波数が自動停止します。）

● **自動選局を止めるには**
もう一度[−/⏮]または[⏭/+]押す。

テープ/電源切

プレイモード

4

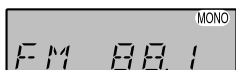
音量

押して、
音量を調節する

ラジオを止めるには：
[テープ／電源切]を押す
● 電源も切れます。

■ **FM ステレオ放送で雑音が多いとき**

プレイモード

押して、**"MONO"**を表示させる

MONO
FM 88.1

● モノラル音声になり、雑音が減って聞きやすくなります。
● 通常は**"MONO"**を表示させないで使用してください。

■ **受信状態が悪いとき**

● FM：本体後面のホイップアンテナを調整する
● AM：本体の向きを変える

お知らせ

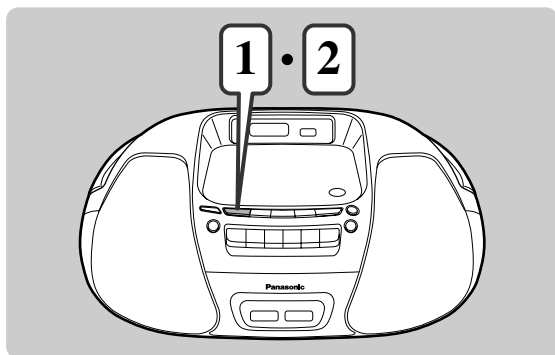
● AMとテレビの音声はモノラルになります。
● 乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。
● オートチューニング時、妨害電波があると放送局を受信せずに停止することがあります。
その場合は、[−/⏮]または[⏭/+]を押して選局してください。
● 2または3チャンネルにFMが混信することがあります。
（TV受信回路はFM受信回路と兼用しているためです）

ラジオを聞く

放送局を記憶させて聞く（プリセット選局）

プリセット選局は、放送局を簡単に選べるようにする機能です。
自動で記憶させる**「オートプリセット」**と、好きな放送局を選んで記憶させる**「マニュアルプリセット」**があります。
FM（TV1～3chを含む）は20局、AM は12局まで記憶させることができます。

自動で記憶（オートプリセット）

FM、AM どちらも設定するときは、それぞれ下記の手順を行ってください。

1 FM/AM －オートプリセット **押して、“FM”または“AM”を選ぶ**

押すたびに：FM↔AM

- FM を選んだときはFM を、AM を選んだときはAM のみを設定します。

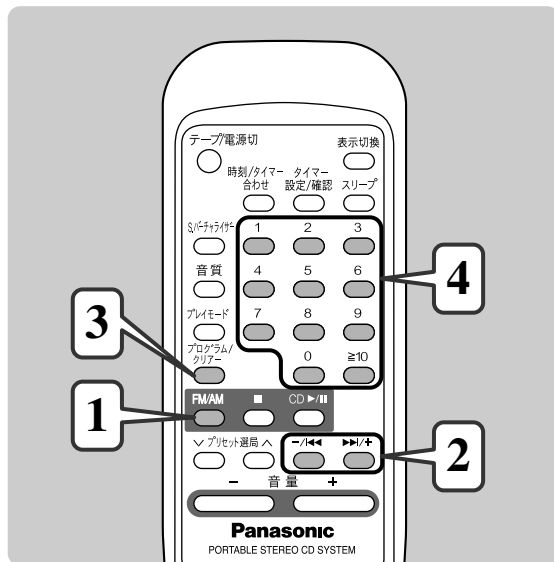
2 FM/AM －オートプリセット **“AUTO”が表示されるまで押したままにする**

- 受信できる放送局を自動的に検知し、順番に記憶します。
- 記憶が完了したら、元の表示に戻ります。

お知らせ

- すでに設定済みのチャンネルに他の放送局を記憶させると、以前の設定は失われ、新しい放送局が記憶されます。
- FM の放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてください。

手動で記憶（マニュアルプリセット）

1回の操作でひとつの放送局を記憶します。

1 FM/AM **押して、“FM”または“AM”を選ぶ**

押すたびに：FM↔AM

2 −/I◀◀ ▶▶I/+ **押して、記憶させたい放送局を選ぶ**

3 プログラム/クリアー **押す**

PGM FM 88.1

- “PGM”が、約10秒間点滅します。

4 “PGM”が点滅している間に
数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

- 放送局の記憶が完了し、“PGM”が表示します。

■ **数字ボタンで10以上のチャンネルを選ぶには**

(例)　12：≧10 → 1 → 2

■ **続けて設定するには**

手順 **2** ～ **4** をくり返す

音質や音の効果を変える

効果の程度は音源（テープ、CD、ラジオ）により異なります。
音質や音の効果を変えても、テープに録音される音には影響しません。（☞ 15ページ）

聞く

本体で操作する

1 FM/AM ーオートプリセット 押して、“FM”または“AM”を選ぶ
押すたびに：FM↔AM

2 選局モード 押して、“PGM”を表示させる

FM 87.9

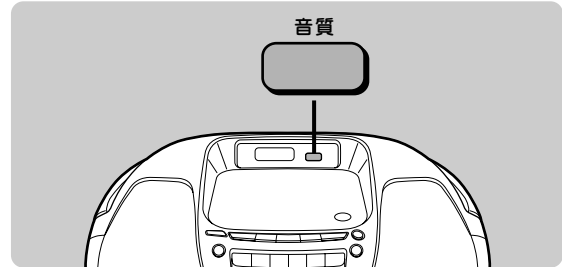
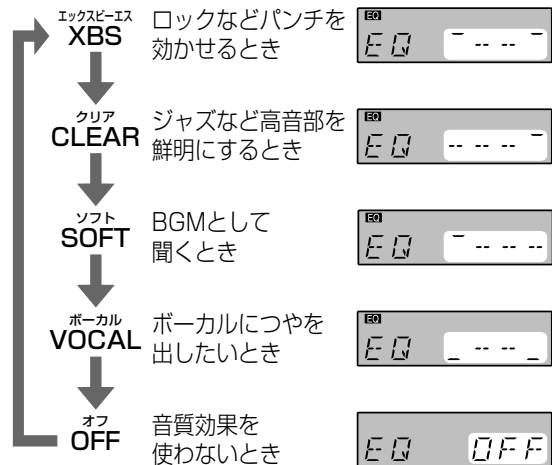
3 −/⏮ ⏭/+ 押して、聞きたい放送局を選ぶ

FM 3
プリセットチャンネル

リモコンで操作する

1 FM/AM 押して、“FM”または“AM”を選ぶ
押すたびに：FM↔AM

2 ∨ プリセット選局 ∧ 押して、聞きたい放送局を選ぶ

音質を変える（プリセットEQ）

押す

押すたびに

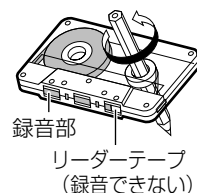
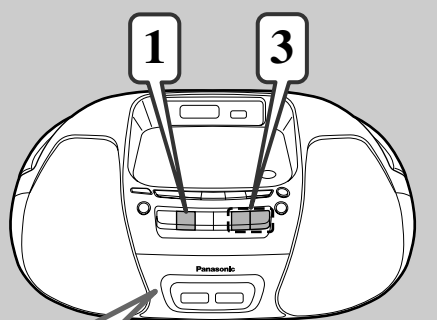
音に臨場感を出す（S.バーチャライザー）

リモコンのみ

押す（もう一度押すと解除）

録音する

テープの準備

- **テープのはじめから録音するとき**
  録音できないリーダーテープ（色の違う部分）を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。
- **テープの途中から録音するとき**
  テープを聞いて録音を始める位置を頭出ししておきます。

CD 、ラジオを録音する

1

押して、
カセットふたを開け、録音用テープを入れる

2 **CD を録音する場合**
録音したいCD を演奏し、
［■］押して、いったん止める
（☞ 8ページ）

ラジオを録音する場合
録音したい放送局を選ぶ
（☞ 11～13ページ）

3

押して、**録音を始める**

［● 録音］を押すと、［◀ 再生］も押し込まれます。CD を録音するときは、CD の演奏も同時に始まります。

■ 録音を止める

［■/≜ 停止／取出し］を押す
（CD、ラジオは止まりません）
- CDを止めるには［■］を押す。
- ラジオを止めるには**［テープ／電源切］**を押す。

■ 録音を一時停止する

［❚❚ 一時停止］を押す（CD、ラジオは止まりません）
- 録音を再開するには、もう一度［❚❚ 一時停止］を押す。

■ CD の好みの曲を録音する

① 録音用テープを入れる
② **「聞きたい曲を予約順に聞く」**（☞10ページ）の手順 **1** ～ **2** で録音する曲を予約する
③ ［● 録音］を押す
- ［◀ 再生］も押し込まれ、CD の演奏も同時に始まります。

■ CD の演奏が終わると

CD は止まりますが、テープは録音を続けます。
- テープを止めるには［■/≜ 停止／取出し］を押す。

■ テープの片面の録音が終わると

録音は止まりますが、CD 、ラジオは演奏を続けます。
- CDを止めるには［■］を押す。
- ラジオを止めるには**［テープ／電源切］**を押す。
- 続けてテープの反対の面に録音するには

CD の場合

① ［CD ▶/❚❚］を押して、CD を一時停止させる
② ［－/⏮］を押して、録音が途切れた曲の頭出しをする
③ ［■/≜ 停止／取出し］を押して、テープを取り出し、録音する面を手前に入れ替える
④ ［● 録音］を押す
- ［◀ 再生］も同時に押し込まれます。

⑤ ［CD ▶/❚❚］を押して、CD の演奏を再開する

ラジオの場合

上記手順 ③ ～ ④ をおこなう

録音するテープの種類について

本機で正しく録音できるテープは、

NORMAL POSITION（ノーマル ポジション）／TYPE Ⅰ です。

ハイポジション、メタルポジションテープを使うことはできますが、正しく録音・消去はできません。

カラオケの録音について

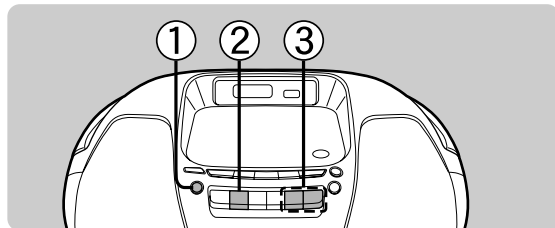
マイクを使ったカラオケの録音ができます。

（☞ 16ページ）

録音時の音量・音質について

録音中に本機の操作で音量や音質を変えても、録音されるテープには影響しません。

CD 、ラジオから録音する場合は、録音時の音量や音質は自動的に設定されます。

録音を消して無音テープを作る

① 電源ランプが点灯しているときは **[テープ／電源切]** を押す

② **[■/⏏ 停止／取出し]** を押して、カセットふたを開け、**消したい面を手前**にしてテープを入れる

③ **[● 録音]** を押す

- **[◀ 再生]** も同時に押し込まれます。

■ 録音を止める

[■/⏏ 停止／取出し] を押す

■ 録音を一時停止する

[❚❚ 一時停止] を押す

- 録音を再開するには、もう一度 **[❚❚ 一時停止]** を押す。

外部機器を接続して録音する

本体後面

MIX MIC

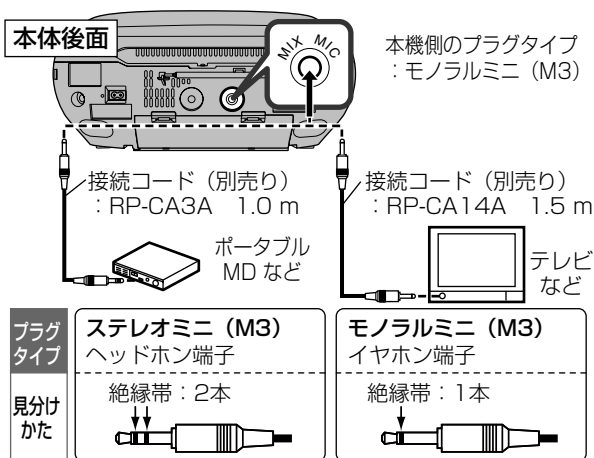
本機側のプラグタイプ
：モノラルミニ（M3）

接続コード（別売り）
：RP-CA3A　1.0 m

ポータブル
MD など

接続コード（別売り）
：RP-CA14A　1.5 m

テレビ
など

プラグタイプ	ステレオミニ（M3） ヘッドホン端子	モノラルミニ（M3） イヤホン端子
見分けかた	絶縁帯：2本	絶縁帯：1本

準備

電源を切って接続してください

本機後面の MIX MIC 端子に、別売りのコードで外部機器を接続してください。

① 本機の電源ランプが点灯しているときは **[テープ／電源切]**を押す

② **[■/⏏ 停止／取出し]**を押して、カセットふたを開け、**録音用**テープを入れる

③ 本機の**[● 録音]**を押す

- **[◀ 再生]**も同時に押し込まれます。

④ 外部機器の演奏を始める

■ 録音を止める **[■/⏏ 停止／取出し]** を押す

■ 録音を一時停止する **[❚❚ 一時停止]** を押す

- 録音を再開するには、もう一度 **[❚❚ 一時停止]** を押す。

- 音量は外部機器側で音が歪まないように調節してください。

お知らせ

- 録音中は、以下の操作ができません
  - 再生する音源 (CD、ラジオ、テープ) の切り換え
  - ラジオのAM/FM 、周波数の切り換え
  - CD のスキップ、サーチ
- ツメの折れたテープでは録音できません。（☞ 20ページ）
- テープは片面ずつしか録音できません。（手前の面だけ録音して停止します）
- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
- 録音中に本機とテレビを近付けると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。1.5 m以上離してお使いください。

マイクを使う

マイクは別売です

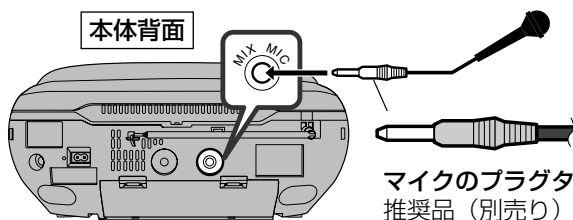
お手持ちのマイクのプラグタイプを調べてください。
本機に接続できるマイクのプラグタイプは**モノラルミニ（M3）**です。

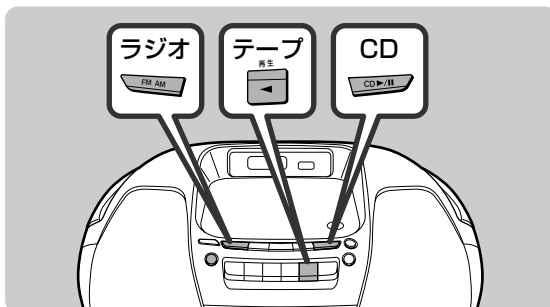
マイクを使うときの準備

① 本体の電源が入った状態で音量を下げる

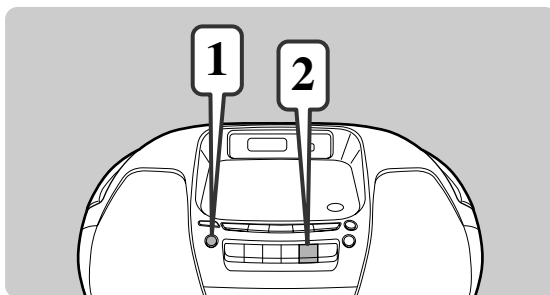
② マイクを接続する

③ 音量を調節する

- 大きな音量のまま接続すると、ハウリング（ピーという音）が起きることがあります。

マイクのプラグタイプ：モノラルミニ（M3）
推奨品（別売り）：RP-VK45、RP-VK35、RP-VK25

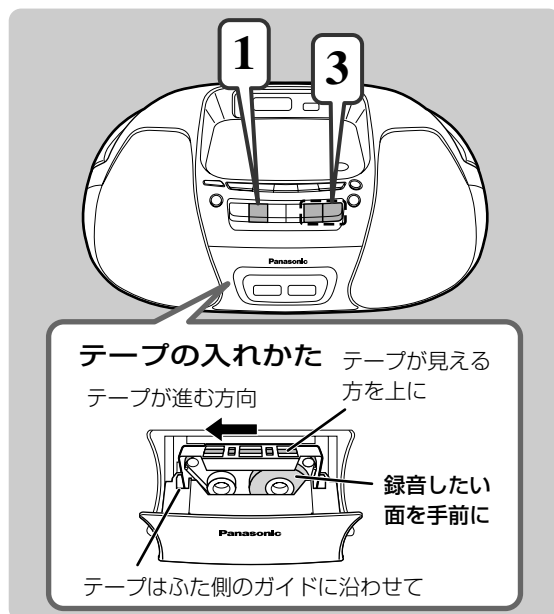
カラオケを楽しむ

CD やラジオ、テープを演奏し、カラオケを始める

- テープを演奏する（☞ 7ページ）
- CD を演奏する（☞ 8〜10ページ）
- ラジオを受信する（☞ 11〜13ページ）

拡声器として使う

1 電源ランプが点灯しているときは
テープ/電源切
押す

2 テープが入っていない状態で
再生 ◄
押して、
拡声器として使う

カラオケを録音する

マイクから入る音と、CD（またはラジオ）の音を同時に録音します。

1 停止/取出し ■/⏏
押して、
カセットふたを開け、
録音用テープを入れる

2 **CD を入れ、**
好みの曲を演奏する
（またはラジオの放送局を選ぶ）

3 録音 ●
押して、
カラオケを始める

［● 録音］を押すと、［◄ 再生］も押し込まれます。

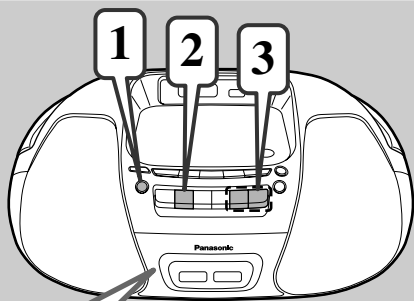
■ **録音を止める**

［■/⏏ 停止／取出し］を押す

お知らせ

- マイクは口元に近づけて使用してください。
- 録音される音の大きさは、自動的に設定されます。録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響しません。
- 音声多重のテープやCD を使っても、歌手の声を消すことはできません。
- CD でカラオケをしているときは、CD の演奏中のみ音声が出ます（停止、一時停止中にはマイクの音声は出ません）。
- マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

マイクの音だけを録音する

マイクから入る音だけを録音します。

1 電源ランプが点灯しているときは

押す

2 停止/取出し ■/⏏ 押して、
カセットふたを開け、録音用テープを入れる

3 録音 ● 押して、
録音を始める

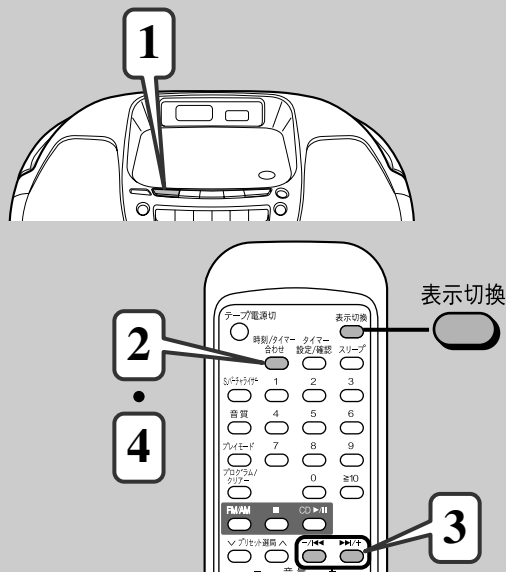
［● 録音］を押すと、［◄ 再生］も押し込まれ、録音を始めます。

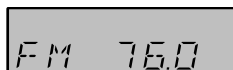
■ 録音を一時停止する

［❚❚ 一時停止］を押す

- 録音を再開するには、もう一度［❚❚ 一時停止］を押す。

時計を合わせる

時計は24時間表示です。
（例）午後1時→13：00

1 FM/AM －オートプリセット 押して、
電源を入れる

FM 76.0

2 時刻/タイマー合わせ **押す**

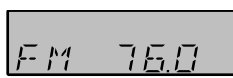
-- --:-- --

3 約10秒以内に
−/⏮ または ⏭/＋ 押して、
時刻を合わせる

押したままにすると、連続的に時刻が変わります。

4 時刻/タイマー合わせ **押す**

FM 76.0

元の表示に戻ります。

■ 時計を表示する

［表示切換］を押す

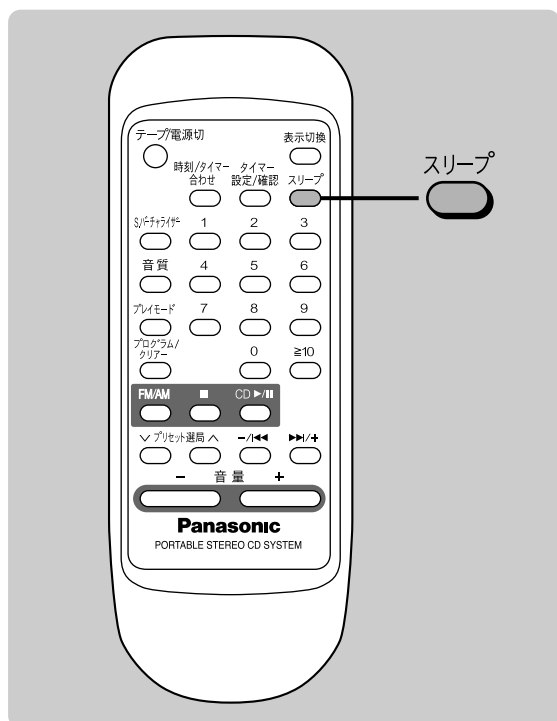
- 元の表示に戻るには、もう一度［表示切換］を押す。

お知らせ

- 時計精度は室温において月差約1分です。定期的な時刻補正をおすすめします。

タイマーを使う リモコンのみ

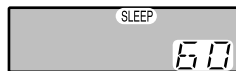
おやすみタイマー

設定した時間が経過すると、CD またはラジオの演奏を停止し、自動的に電源が切れます。テープのときは、おやすみタイマーを設定できません。

CDまたはラジオを聞いているとき

スリープ **押して、**

“SLEEP” を表示させる

押すたびに（単位：分）

→30→60→90→120→OFF（解除）

■ **解除する**

[スリープ] を押して **“OFF”** を選ぶ

■ **残り時間を確かめる**

[スリープ] を1回押す

■ **残り時間を変える**

[スリープ] を押して、新たに時間を設定する

おめざめタイマー

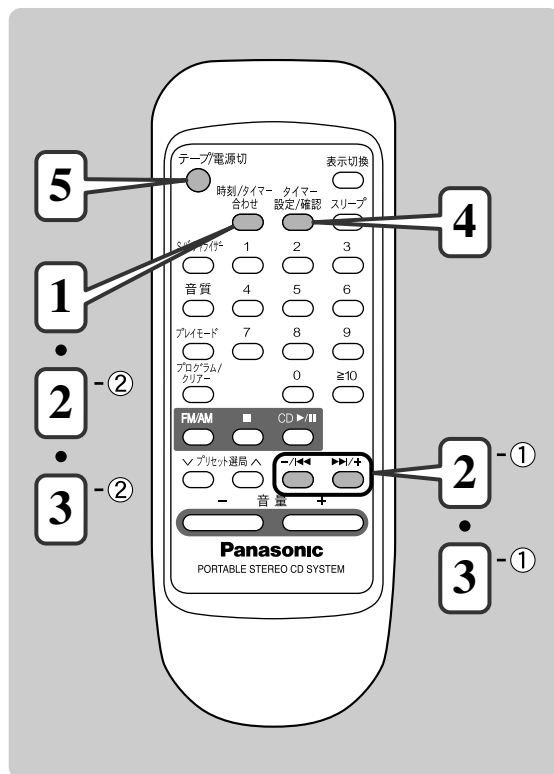
本機を目覚まし時計のように使う機能です。CD またはラジオを鳴らすことができます。テープのときは、おめざめタイマーを設定できません。

準　備

① **時計を合わせる**（☞ 17ページ）

② **音源を選ぶ**

- CD を鳴らしたいとき（☞ 8～10ページ）
- ラジオを鳴らしたいとき（☞ 11～13ページ）

③ **音量を調節する**

■ **音源（CD、ラジオ）や音量を変更する**

❶ 電源が入った状態で、**[タイマー設定/確認]** を押して **“◴ PLAY”** 表示を消す

❷ 音源や音量を変更する

❸ **[タイマー設定/確認]** を押して **“◴ PLAY”** を表示させる

❹ **[テープ/電源切]** を押して電源を切る

お知らせ

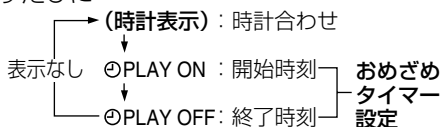
- おめざめタイマーとおやすみタイマーは同時に使用できます。
  （例）就寝時、おやすみタイマーで電源を切る→おめざめタイマーで起床する
- おやすみタイマーが優先されるので、タイマーの設定内容が重ならないようにしてください。

開始・終了時刻を設定する

1 時刻/タイマー合わせ **2回押して、“⊙ PLAY ON”を表示させる**

“⊙ PLAY ON”が約10秒間表示します。

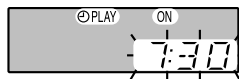
押すたびに

- （時計表示）：時計合わせ
- ⊙PLAY ON ：開始時刻 ┐ おめざめタイマー設定
- ⊙PLAY OFF：終了時刻 ┘
- 表示なし

2 **開始時刻を設定する**

“⊙ PLAY ON”が表示中に

① −/⏮ ⏭/＋ **押して、開始時刻を合わせる**

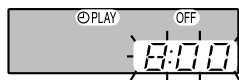
押したままにすると、連続的に時刻が変わります。

⊙PLAY ON 7:30

② 時刻/タイマー合わせ **押す**

“⊙ PLAY OFF”が約10秒間表示します。

3 **終了時刻を設定する**

“⊙ PLAY OFF”が表示中に

① −/⏮ ⏭/＋ **押して、終了時刻を合わせる**

② 時刻/タイマー合わせ **押す**

おめざめタイマーを使うときは、右の「おめざめタイマーを使う」の手順へ

おめざめタイマーを使う

4 タイマー設定/確認 **1回押して、“⊙ PLAY”を表示させる**

開始時刻→終了時刻が約3秒ずつ表示されます。

⊙PLAY 11 48:33

5 テープ/電源切 **押して、電源を切る**

開始時刻になると演奏が始まり、終了時刻になると演奏を停止して電源が切れます。

電源が入っていると、おめざめタイマーは働きません。

- おめざめタイマーを設定（“⊙ PLAY”が表示）していても、続けて演奏を楽しめます。使い終わったら、タイマー開始時刻の前には本機の電源を切っておいてください。

お知らせ

- おめざめタイマー開始時刻に電源が入ったあと、自動で切れる前に電源を切ると、すぐに電源を入れても終了のタイマーは働かず、設定した終了時刻に電源が切れません。

■ 開始時刻、終了時刻の設定を変更する

電源が入っている状態で、“⊙ PLAY”が表示されているとき、
上記の手順、1→2→3→5 を行う

■ 設定内容を確認する

電源を切った状態で、**［タイマー設定/確認］**を押す

- 開始時刻→終了時刻→音源→音量→現在の時刻の順で表示されます。

■ 解除する

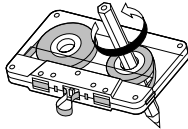
電源が入った状態で、**［タイマー設定/確認］**を押して“⊙ PLAY”表示を消す

- “⊙ PLAY”表示が消え、おめざめタイマーが解除されます。
- おめざめタイマーは、“⊙ PLAY”表示を消すまで、設定した時刻になると毎日動作します。

テープについて

■ 100分を超えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。
（回転部に巻き込まれることがあります）

■ エンドレステープについて
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

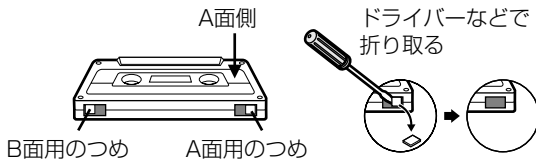
■ テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■ 取扱上のお願い
テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- **テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない**
- **指定以外の場所にシールを貼らない**

■ 録音したテープを誤って消さないために

● もう一度録音するには

ノーマル
ポジション

セロハンテープ
などを貼る

■ 保管しておくとき
次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温（35℃以上）や高湿（80%以上）のところ
- 磁気のあるところ（スピーカーの近くや、テレビの上など）

著作権について

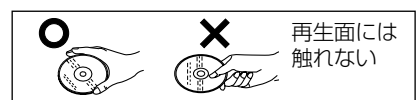
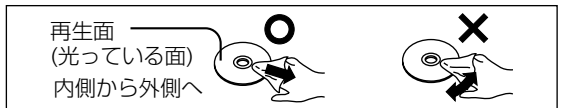
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります）
上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。
CD-DA フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 持ちかた

■ 汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　VUA7091（サービスルート扱い）

■ 露がついたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 取扱上のお願い
CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したCD は使わない

■ 保管しておくとき
次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481-2121
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (019) 652-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
長野支部	☎ (026) 225-7111
大宮支部	☎ (048) 643-5461
上野支部	☎ (03) 3832-1033
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (042) 529-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (076) 221-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 6244-0351
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (087) 821-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
那覇支部	☎ (098) 863-1228

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	処　置	参照ページ
共通	本体に電池を入れたが動かない。	本体に電源コードが接続されていませんか。	電池で使う場合は、本体から電源コードをはずす。	6
	"U01" が表示された。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池をいれる。または家庭用コンセントを使う。	6
テープ	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。	20
	雑音が多い。 音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	クリーニングテープを使って清掃する。	21
	カセットが取り出せない。 カセットを入れてもふたが閉まらない。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池または家庭用コンセントを使用し、[◀ 再生] を押したあと [■/⏏ 停止／取出し] を押す。	6
CD	"ERROR" が表示された。	適切でない操作をしたか、操作を間違えています。	取扱説明書にしたがって操作しなおす。	–
	演奏が始まらない。 曲数などの表示が出ない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	20
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたなど、急激な温度変化がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	–
		CD の裏表が逆になっていませんか。	ラベルを上にしてCD を入れなおす。	8
		規格外のCD ではありませんか。	規格のCD と取り替える。	20
	CD-RW が読み込めない。	不完全な録音形式ではありませんか。	正規の録音形式で録音されたCD-RW を使用する。	20
ラジオ	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	他の機器のリモコンを離す。	–
		テレビと同時に使用していませんか。	テレビから離す。またはテレビの電源を切る。	–
リモコン	リモコンで操作できない。	乾電池の ⊕、⊖ が逆になっていませんか。	⊕、⊖ を正しく入れる。	5
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	5

お手入れ

■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ CD を良い音でお楽しみいただくために

専用クリーナーで、レンズを時々清掃されることをおすすめします。

推奨品（別売り）：CDレンズクリーナー
（品番：RP-CL510）

■ テープの音を、よい音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、ヘッド部を清掃されることをおすすめします。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、ポータブルステレオCDシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

21ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、テープの停止を確認後、電源プラグを抜き、お買上げの販売店へご連絡下さい。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ポータブルステレオ CD システム
品番	RX-D27
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

主な仕様

ラジオ

受信周波数
- FM：76.0 ～90.0 MHz（0.1 MHzステップ）TV 1 ch～ 3 ch
- AM：522 ～1629 kHz（9 kHzステップ）

テープレコーダー

トラック方式	：ステレオ
録音方式	：交流バイアス
消去方式	：マグネット消去
モニター方式	：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲（ノーマルポジション）	：50 ～12000 Hz（JEITA）

CD プレーヤー

標本化周波数	：44.1 kHz
量子化	：16 ビット直線
光源	：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
DA コンバーター	：1 ビット DAC

メモリー

電源	：DC 4.5 V、（単 3 形乾電池 3 個）
電池持続時間	：約 1 年間（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）

リモコン

電源	：DC 3 V（単 3 形乾電池 2 個）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）	：48 mm ×130 mm ×22.9 mm（JEITA）
質量	：約 83 g（乾電池を含む）

共通

スピーカー	：8 cm 丸形 4.0 Ω 2 個
入力端子 マイク	：M3 モノラルミニ
出力端子 PHONES	：M3 ステレオ （32 Ω）
実用最大出力（DC時）	：2.4 W ＋ 2.4 W（JEITA）
電池持続時間 ラジオカセット部	：約 14 時間（JEITAラジオ録音時） 約 9 時間（JEITA音楽再生時、音量MAXに対し3/4程度）
CD 部	：約 8 時間（CD 連続録音時） 約 6 時間（CD 連続演奏時）

（別売りパナソニックアルカリ乾電池《金》LR14（G）使用時）

電源 電灯線	：AC 100 V、50/60 Hz
乾電池	：DC 9 V、（単 2 形乾電池 6 個）

・乾電池の代用として充電式電池を使わない。

消費電力	：AC 17 W
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）	：408 mm ×168 mm ×288 mm（JEITA）
質量	：約 3.4 kg（乾電池なし） ：約 3.8 kg（乾電池を含む）

注）
- 乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

「テープ／電源切」を押して電源を切った時の消費電力：0.7 W（ACのとき）

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケットシンボルマーク

愛情点検　長年ご使用のポータブルステレオCDシステムの点検を！

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	RX-D27
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　　）　－

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQTT0597-3S
M0304YS3025